



医科の研修医は最近マスコミに取り上げられることが多く、広く知られるようになった。魅力的なプログラムを持つ病院に人が集中し、へき地や地方都市の医師不足を招いている。きょうは、歯科における臨床歯科研



修について述べたい。

歯科は一年の臨床研修

(医科は二年)を修了し

ないと医院の開設がで

ないだけでなく、診療そ

のものができない。私が

卒業した時代は大学に患

者さんが多く、大学五、

六年で臨床に多く触れる

ことができた。大学の患

者さんの減少や教育内容

の増加によって、今の歯

教育レベルの低下に懸念

□□6□□

科大学の学生はほとんど患者さんに触れず卒業していく。

歯科医師は初めて臨床を経験した環境(歯科医院)に大きく影響されると言われている。しかし卒業後教育を考慮した一般歯科医院はほとんどなく、研修歯科医は大学や病院(口腔外科)での研修を選択することが多い。

研修に熱心な開業医の先生は「歯科医師になって良かった」と思えるような研修にしたいと言う。しかし、四十人に一人は協力的施設(一般開業医)で精神的ストレスを抱えて途中で中断することも聞く。

新聞には私立歯科大学の定員割れと受験者数の大きな減少を報じている。大学自体の偏差値も大幅に悪くなっていると。教育レベルの低下は何年後にか患者さんの不利益になるだろう。ステータスや希望がない業種には未来がない。

歯科医師臨床研修には歯科の未来がかかっている。